【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年11月24日(2022.11.24)

【国際公開番号】WO2022/107508
【出願番号】特願2022-516671(P2022-516671)
【国際特許分類】
C08G 59/14(2006.01)
C08F290/06(2006.01)
G03F 7/027(2006.01)
【ＦＩ】
C08G 59/14
C08F290/06
G03F 7/027515

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月15日(2022.3.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エポキシ樹脂（Ａ）と、
不飽和一塩基酸（Ｂ）と、
水酸基及びカルボキシル基を有する化合物（Ｃ）と、
多塩基酸無水物（Ｄ）とを必須原料とする酸基を有する（メタ）アクリレート樹脂であって、
前記エポキシ樹脂（Ａ）の軟化点が、８０℃以上であり、
前記化合物（Ｃ）が、水酸基を少なくとも２つ有し、カルボキシル基を少なくとも１つ有するものであり、
前記化合物（Ｃ）の使用量が、前記エポキシ樹脂（Ａ）のエポキシ基１モルに対して、０．２～０．４モルの範囲であることを特徴とする酸基を有する（メタ）アクリレート樹脂と、光重合開始剤と、前記酸基を有する（メタ）アクリレート樹脂以外の酸基及び重合性不飽和基を有する樹脂を含有する硬化性樹脂組成物の硬化物からなるレジスト部材。
【請求項２】
前記化合物（Ｃ）が、ジメチロールプロピオン酸及び／又はジメチロールブタン酸である請求項１記載のレジスト部材。
【請求項３】
前記エポキシ樹脂（Ａ）が有するエポキシ基１モルに対して、前記不飽和一塩基酸（Ｂ）及び前記化合物（Ｃ）が有するカルボキシル基の合計モル数が０．９５～１．０５モルの範囲である請求項１又は２記載のレジスト部材。
【請求項４】
前記多塩基酸無水物（Ｄ）の使用量が、前記エポキシ樹脂（Ａ）が有するエポキシ基１モルに対して、０．３５～１モルの範囲である請求項１～３の何れか１項記載のレジスト部材。